

## 地域医療の最後の砦をさらに強化

### 集中治療部門を統合・増床し、より高度で安心な医療を提供します

自治医科大学附属病院は、このたび、これまで別々に運用していたICU(集中治療室)とCCU(冠動脈疾患集中治療室)を一つのフロアに統合し、病床数を20床から26床へ増床する大規模な再編を行いました。これにより、心臓や血管などの大きな手術後の患者さんや、重い循環器の病気を抱える患者さんへ、より迅速で質の高いチーム医療を提供できる体制が整いました。これは、市民の皆さまの「万が一」の時に、これまで以上に多くの命を救い、安心をお届けするための取り組みです。

### ICU/CCUとは？

ICUやCCUは、生命の危機にある重症の患者さんを24時間体制で見守り、最新の医療機器を駆使して集中的な治療を行う専門病棟です。一般の病棟よりも手厚い数の医師や看護師が配置され、一刻を争う事態に即座に対応できる「病院の中の病院」ともいえる場所です。

### 新ユニットの特長：チームの力で命を守る

今回の再編での最も大きな変化は、心臓血管外科、循環器内科、集中治療科といった各分野の専門家たちが、常に同じ場所で連携できるようになったことです。

#### ■より迅速で的確な判断

専門医たちが患者さんのすぐそばで直接対話し、共同で治療方針を決めるため、より速く、よりの確な医療を提供できます。

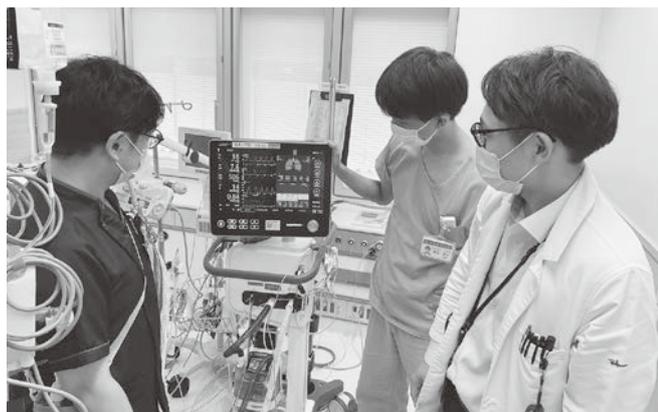
#### ■より多くの重症患者さんの受け入れ

病床が増えたことで、地域の救急医療の要請にこれまで以上に応えることが可能となり、地域全体の医療体制の強化に貢献します。

#### ■患者さんにご家族への大きな安心感

複数の専門チームが一体となって一人の患者さんを支える「チーム医療」がさらに強化され、患者さんやご家族に大きな安心感をもたらします。

当院は、これからも地域医療の中核病院として、市民の皆さまがこの街で健やかに、そして安心して暮らし続けられるよう、最善の医療を提供することに全力を尽くしてまいります。



旧体制→新体制のイメージ



新体制

